

授業科目 装具学 III (下肢装具)

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	義肢
阿部 薫、笹本 嘉朝、飯塚 尚、須田 裕紀		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○			○	◎	
【概要・一般目標：G10】					
各下肢疾患・障害に対応した下肢装具のデザイン決定、製作および適合を行えるようになるために、下肢のバイオメカニクス、疾患学、装具学等の基礎知識を習得する。					
【学習目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 下肢装具の定義、分類、用語、使用目的について説明できる。 2. 下肢の解剖・機能解剖、およびバイオメカニクスについて説明できる。 3. 対象となる疾患学について説明できる。 4. 疾患と下肢装具の使用目的およびバイオメカニクスについて説明できる。 5. 下肢装具の臨床工程で求められる義肢装具士の役割、責任、および求められる態度について説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	下肢装具概論			1	
2	下肢の解剖・機能解剖・バイオメカニクス			2	
3	下肢の疾患・機能障害			3	
4	下肢装具学各論 I：足部疾患と装具			34	
5	下肢装具学各論 II：足関節の機能障害と装具			34	
6	下肢装具学各論 III：下肢の骨折と装具			34	
7	下肢装具学各論 IV：足関節および膝関節疾患と装具			34	
8	下肢装具の臨床工程と義肢装具士の役割、責任、および求められる態度			5	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		装具学 第3版	加倉井周一	医歯薬出版	2003・6,200 円＋税・ISBN4263212762
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席、学習態度、筆記試験		実習科目とあわせて進めるため、本科目と装具実習 III(下肢装具実習)の相互理解が重要である。			